

## お米は最高においしい幸せの味

日南市立吾田小学校 5年 小倉 大直

ぼくのおじいちゃんとおばあちゃんは、お米を作っています。ぼくは、十年間ずっとそのお米を食べて、ここまで大きくなりました。遊びに行くとき、トラクターに乗せてもらいます。じいちゃんの横にのって、田んぼをたがやして進んでいくと、田んぼの王様になった気分になります。たくさんのお米も集まってきて、とてもいい気持ちです。

おばあちゃんの家にとまると、いつもおいしいご飯が出てきます。朝食で出てくる、しゃけと、みそしるとご飯がとってもおいしいです。ご飯がとってもあまくて、いつもよりたくさん食べてしまいます。バーベキューをする時には、たくさんのおにぎりを作ります。八合位をたいて、あつあつご飯でおにぎりを作ります。手を水でぬらして、塩をつけて、あつあつご飯をにぎります。

「やさしくギュツとするのがおいしいおにぎりのコツだよ。」とおばあちゃんが教えてくれました。二、三回ギュツとにぎると、白くかがやく、おいしいおにぎりができます。作っていると中で二三位食べてしまいます。塩おにぎりは、とってもおいしいです。

去年の夏、台風でじいちゃんの田んぼは、海のようにになりました。近くの川がはらんして、田んぼが水につかってしまいました。じいちゃんから、水につかった田んぼの、動画が送られてきました。心ぞうがギュツとなって、とっても苦しい気持ちになりました。田植えから始めて、じいちゃんとばあちゃんが、心をこめてお世話してきた田んぼが、あつという間に海のようになっていました。

「自然には、さからえないね。」

とじいちゃんが言っていました。とってもくやしかったです。おいしい

お米ができるには、たくさんの方の苦勞と少しの運の良さが必要なんだと知りました。おいしいお米を食べれることに感じやしたいと思います。

それからぼくは、白いご飯を一口かむ度に、幸せの味を感じています。

一つぶ一つぶかみしめて、やっぱりおいしいなと思っています。

やっぱりじいちゃん、ばあちゃんの方が作ったお米は、最高においしい幸せの味です。